



学校だより

令和7年7月18日
第4号(7月号)
新潟市立岡方第二小学校

ほめて みとめて ありがとう

充実した34日間の夏休みを

校長 田巻 幸雄

夏休みを前にした、あのドキドキ感、ワクワク感、開放感。大人であればだれもが経験したものだと思います。来週24日(木)からの夏休みを前に、今まさに岡方第二小学校57名の子どもたちも、同じような気持ちでしょうか。

学校としては、子どもたちが、安全にきまりよく夏休みを過ごし、8月28日(木)授業再開日に元気な顔を揃えてくれることを願うのみです。

さて、私も今まで当たり前のように過ごしてきた夏休み。夏休みの「なぜ、どうして」などをインターネットで調べてみました。



1 夏休みはいつ始まった？

日本の夏休みは、1881年(明治14年)に文部省が夏季休業日を定めたことが始まりです。正式名称は「夏季休業」といいます。

ちなみに、岡方第二小学校開校は1873年(明治6年)、開校して7年間は夏休みがなかったということになりそうです。

2 夏休みはなぜ始まった？

当時は、冷房設備がない校舎が多く、暑さで授業が困難だったので、休業日としたそうです。また、欧米の学校制度を参考にしていたので夏休みが導入されたといわれています。

ということは、岡方第二小学校開校後7年間は、猛暑の中でも授業が行われていたということでしょうか。開校後間もない子どもたちのたくましさに感心します。

3 夏休みは何のためにあるの？

①心身の休養

普段の学校生活から解放され、心身ともにリフレッシュする。

②体験活動

学校ではできないような体験をすることで、新たな発見や成長の機会を得る。

③自主性・自律性の育成

自由な時間が増えることで、自分で考え、行動する力を養う。

④学習の振り返り

夏休みまでの学習内容を復習し、理解度を確認する機会になる。

⑤夏休み後の準備

夏休み後の学習をスムーズに進めるための準備期間となる。

